

第19回日韓国際シンポジウム開催のお知らせ

2013年度の日韓国際シンポジウムを下記の日程で開催します。多くの会員の参加を希望します。

日 時：2013年8月31日（土）9時30分受付開始

開催場所：成均館大学（Sungkyunkwan University）ソウル・キャンパス
600周年記念館 ソウル市 鍾路区明倫洞3街 53
アクセス <http://www.skku.edu/eng/>

テーマ：「日韓大衆文化交流の変化と展望—1998年日韓パートナーシップ宣言以降—」

趣 旨：

1998年10月、小渕恵三・金大中両国首脳によって、「21世紀新たな日韓パートナーシップ共同宣言」が採択された。以後、韓国では日本の大衆文化が開放された。他方、韓国の官民あがての文化政策の推進により東アジアでは韓流ブームが広まり、日本においてもその定着が進んでいる。

そこで、本シンポジウムでは、1998年から日韓の文化交流の歩みとそれがもたらしたものを、主要メディアにおける流れとブログやSNSなどネット世界における動向のふたつの次元から検証し、今後の展望を得ていく。

【プログラム】

10：00 開会

10：10～10：30 会長挨拶

金 正鐸（韓国言論学会、成均館大学）

谷藤悦史（日本マス・マスコミュニケーション学会、早稲田大学）

10：40～11：10 基調講演

朴 明珍（ソウル大学）

奥野昌宏（成蹊大学）

11：20～12：30 第1セッション：新聞・テレビにおける日韓文化交流の展開

「韓国言論に現われた韓日文化交流に対する需要方式」

吳 大泳（嘉泉大学）、李 完洙（東西大学）

「リメイク作品から見る日韓ドラマの〈社会性〉—『ハケンの品格』（日）『職場の神』（韓）を題材に」

芳賀 恵（北海道大学）、金 周英（北海道大学）、玄 武岩（北海道大学）

討論者：韓 美静（漢陽大学）、山中千恵（仁愛大学）

12：30～13：50 昼食

13：50～15：10 第2セッション：ネットにみる日韓文化交流の動向
「インターネットを通じた日本大衆文化需要の現状及び特性研究試論」
文 熾珠（放送通信審議委員会）、白 承赫（韓国コンテンツ振興院）

「ネットを通じたファンの交流」

小林義寛（日本大学）

討論者：金 秀貞（忠南大学）、藤代裕之（法政大学）

15：10～15：30 休憩

15：30～16：50 総合討論

金 官圭（東國大学）、姜 京守（東明大学）、山中千恵（仁愛大学）、
藤代裕之（法政大学）ほか

16：50 韓国言論学会 次期会長挨拶

17：00 閉会

以上